



# 不法投棄をなくしましょう

▶ 問い合わせ先＝市民環境課環境衛生係(☎内線124)

## 不法投棄を防止するためには

ごみが捨てられている土地には、便乗してごみが捨てられる傾向にあり、ごみのない状態を保持することが、不法投棄の防止につながります。不法投棄があった場合の廃棄物の処理は、土地の所有者が行うこととなります。所有している土地を定期的に巡回し、ごみが捨てられていないかを確認するなど、適切な管理をお願いします。

## 不法投棄の現場を発見したら

不法投棄された廃棄物や、不法投棄者を発見した場合は、発見した日時、場所、廃棄物の種類、不法投棄者の特徴、車両のナンバーなどを、市民環境課または大船渡警察署生活安全課(☎26-0110)に連絡してください。一人一人が「不法投棄をしない、させない、見逃さない」という気持ちを持ち、不法投棄をなくしましょう。

## 不法投棄防止の啓発看板を作成しています

市は、不法投棄防止や犬の糞害防止のため、啓発看板を作成しています。看板は、衛生監視員による巡回の際に不法投棄があった場所や、公衆衛生組合長、地域公民館などの要望により配付し、それぞれの地域で設置しています。地域などで看板を希望する場合は問い合わせください。なお、看板については数に限りがあることから、近隣の看板設置状況などを確認の上配付します。



■市で配付している 啓発看板の種類

① 不法投棄警告看板  
看板サイズ 40 cm × 60 cm  
脚(支柱) 180 cm

市に寄せられる環境に関する相談などのうち、多くを占めるのは廃棄物に関することです。本号では、廃棄物の中でも相談件数の多い、不法投棄についてお知らせします。

## 不法投棄の多い場所と廃棄物の内容

廃棄物の不法投棄は、道路沿いの山林や、河川敷、道路脇、車の待避所などに多い傾向があります。山林への不法投棄は、テレビ、冷蔵庫などの家電製品や、廃タイヤなどの大きいごみが多く、河川敷や道路脇、待避所への不法投棄は、ビニール袋に入れられた弁当の容器やペットボトルなどが見受けられます。大型のごみはもちろん、ごみのポイ捨ても不法投棄にあたります。ルールを守り、清潔で快適な生活環境を保持しましょう。



## ② 川や海への不法投棄 防止看板

看板サイズ 40 cm × 60 cm  
脚(支柱) 180 cm



## ③ 犬の糞害防止看板

看板サイズ 20 cm × 40 cm  
脚 10 cm



## ④ ごみよけトリー

看板サイズ 70 cm × 120 cm

※神社の鳥居を模したもので、道路沿いや雑木林など不法投棄の多い場所に設置し、投棄者への心理的な効果を狙ったものです。



## 衛生監視員によるパトロール

市は、廃棄物の不法投棄を防止し、生活環境を保持するため、市内全域で34人の衛生監視員を委嘱しています。衛生監視員は、担当区域を定期的に巡回し、不法投棄現場を発見したときは、市への報告や原因者への指導、回収可能廃棄物の処理を行っています。このほか、市および沿岸広域振興局と連携したパトロールや研修の実施など、不法投棄の根絶に向け、さまざまな活動を行っています。



【不法投棄パトロール後の報告会】



【34人を衛生監視員に委嘱しています】

## 不法投棄は重大な犯罪です

不法投棄は、地域の景観を損なうだけでなく、有害な物質が漏れることにより土壌や地下水、河川が汚染されるなど、深刻な環境問題につながるおそれがあります。不法投棄をした者には、次の罰則が科せられます。

- ・5年以下の懲役もしくは1,000万円以下(法人の場合は、3億円以下)の罰金、またはその両方



## 小型家電・水銀使用製品は回収ボックスへ

小型家電・水銀使用製品は、市内10カ所に回収ボックスを設置し、回収を行っています。家電に含まれる希少金属などのリサイクルを行っていますので、ご協力をお願いします。

■小型家電  
縦40cm、横20cmまでのものを回収ボックスに入れてください。

▷ 小型家電の例＝電話機、携帯電話、デジタルカメラ、ゲーム機、ラジオ、電卓など

▷ 回収ボックス設置場所  
大船渡市役所本庁舎、三陸支所、綾里・吉浜地域振興出張所、カメラアール、ふるさとセンター、DCMホームマック大船渡店、サンデー大船渡店、クボホームセンター、大船渡

地区クリーンセンター  
※テレビ、エアコン、冷凍冷蔵庫、洗濯機・衣類乾燥機は、小型家電リサイクル法により一般ごみに捨てることはできません。専門業者を利用ください。

■水銀使用製品  
家庭用の蛍光管や乾電池など「水銀使用製品」は一般ごみとしてごみステーションに出すことができません。回収ボックスを小型家電と同じ場所に設置していますので、利用ください。



小型家電回収ボックス(左)および水銀使用製品回収ボックス(右)